



いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む水田農家の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

収穫まで水管理！&適期収穫を守ろう！

《梅雨の曇天から一転して猛暑へ》

東海地方の梅雨明けは、7月18日ごろとなり、平年程度の梅雨明けとなりました。
また、梅雨明け後は猛暑日が続く予報もあり、白未熟粒による米の品質低下が心配されます。

＜白未熟粒の発生を少しでも防ぐ！！＞

早期落水！ダメ！

落水が早すぎると登熟期後半に脱水症状となり玄米が細くなったり
未熟粒(白未熟粒など)・胴割れを発生させる要因になり、米の品質低下を招きます。

＜米粒の形ができるまで＞

コチラ

米の粒形が肥大する期間は出穂30日後頃まで
肥大する順番は①長さ→②幅→③厚さ

早刈り！ 青未熟粒 → 増える

＜注意＞ もちろん！ダメ！です。

刈遅れ！ 胴割れ・茶米 → 増える

＜適期収穫を目指して！＞

収穫適期を判定する目安は、何通りかの方法があります。

① 日数でみる方法

＜早生品種＞出穂後・約35日～45日程度

＜中生品種＞出穂後・約40日～45日程度

② 積算温度(出穂後の平均気温から)

＜早生品種＞850℃～1,000℃

＜中生品種＞1,000℃～1,100℃

③ 籾の熟れ具合を見て、緑色籾数の割合や籾水分を計測して判断する方法



＜収穫目安＞
緑色籾数 3粒～4粒が残る頃

最終的に収穫適期を見極めるには、
穂の基部に緑色籾数が3粒～4粒程度残る頃が収穫適期です。
あぜ際のイネは生育が少し早いため、圃場の中へ入って判断してください。
最後まで適正な栽培管理で、気象変化にも負けないように
品質向上のため、適期に収穫を行いましょう。